

平成 26 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 メ ド ピ ア 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 見 陽
(コード番号：6095 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 山 中 篤 史
(TEL. 03-6805-0345)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 6 月 27 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の業績予想は次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項 目	決算期	平成 26 年 9 月期 (予想)		平成 26 年 9 月期 第 2 四半期累計期間 (実績)		平成 25 年 9 月期 (実績)		
		構成比	対前期 増減率	構成比	構成比			
売 上 高		901	100.0	+56.8	452	100.0	574	100.0
営 業 利 益		224	24.9	+151.8	136	30.2	89	15.5
経 常 利 益		205	22.8	+132.2	133	29.6	88	15.4
当 期 (四 半 期) 純 利 益		127	14.1	+11.9	80	17.8	113	19.8
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益		84 円 26 銭		54 円 88 銭		77 円 45 銭		
1 株 当 たり 配 当 金		0 円 00 銭		0 円 00 銭		0 円 00 銭		

(注) 1. 当社は連結財務諸表を作成していません。

2. 平成 25 年 9 月期 (実績) 及び平成 25 年 9 月期第 2 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成 26 年 9 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数 (160,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分 (最大 35,200 株) は考慮していません。

3. 平成 26 年 3 月 2 日付で、普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。上記では、平成 25 年 9 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期 (四半期) 純利益を算出しております。

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年6月27日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6095 URL <http://medpeer.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石見 陽
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)山中 篤史 (TEL)03(6805)0345
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	452	—	136	—	133	—	80	—
25年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	54.88	—
25年9月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は平成25年9月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年9月期第2四半期の数値及び平成26年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は平成26年3月2日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。このため、平成26年9月期第2四半期の1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、平成26年9月期第2四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	451	257	57.0
25年9月期	335	176	52.6

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 257百万円 25年9月期 176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	901	56.8	224	151.8	205	132.2	127	11.9	84.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年9月期2Q	1,467,000株	25年9月期	1,467,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年9月期2Q	－株	25年9月期	－株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年9月期2Q	1,467,000株	25年9月期2Q	－株
----------	------------	----------	----

（注）1. 当社は、平成25年9月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載しておりません。

2. 当社は平成26年3月2日付で普通株式1株を100株に株式分割しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前事業年度に引き続き、医師の集合知の共有を通じて、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、「MedPeer」サイトの基盤強化を進めるとともに、新規会員の獲得及び既存会員の活性化に注力してまいりました。

一方、当社事業の主要顧客が属する医薬品業界においては、薬価マイナス改定や、ジェネリック医薬品の使用促進などの医療費用の抑制が推し進められる中、市場をけん引してきた大型薬剤は順次特許切れを迎えているため、国内外の製薬企業の収益環境は引き続き厳しい状況になることが予想されております。また、製薬企業から医師への金銭授受に関する透明性を確保する動きが活発化し、製薬企業の営業・マーケティング活動における透明性と生産性の向上が重要視されております。

このような環境の中、当社は製薬企業が抱える営業・マーケティング活動、特に自社医薬品にかかる情報提供と臨床現場からの情報収集の課題解決を事業機会と捉え、積極的に医師会員の獲得及び製薬企業に向けての営業を進めて参りました。医師会員の獲得に対しては、医師の臨床活動に有益な情報を提供する「MedPeer」サイトサービスの充実、メディアへの露出等を通じた「MedPeer」の知名度向上を図ったことにより、当第2四半期累計期間において会員は6.6万人に達しました。また、医師集合知サービスのうち「薬剤評価掲示板」及び「Meet the Experts」を利用したマーケティング支援についても、新規顧客の獲得、既存顧客への各サービスの一層の浸透により、広告掲載数が順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高452,559千円、営業利益136,692千円、経常利益133,710千円、四半期純利益80,503千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べて115,573千円増加し、451,302千円となりました。これは主として、売上の増加に伴い、現金及び預金が44,034千円、受取手形及び売掛金が87,610千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べて35,069千円増加し、194,260千円となりました。これは主として、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が47,539千円減少しましたが、短期借入金30,000千円、未払法人税等24,321千円、未払金12,061千円、及び前受金が11,380千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて80,503千円増加し、257,042千円となりました。これは四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の額が80,503千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、165,364千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、63,412千円となりました。この主な要因は、医師集合知サービスの売上高が増加したことにより税引前四半期純利益133,710千円、前受金の増加11,380千円、未払金の増加9,723千円となる一方で、売上債権が87,610千円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は、1,839千円となりました。この主な要因は、サーバー等の有形固定資産の取得による支出1,819千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により使用した資金は、17,539千円となりました。この主な要因は、短期借入れによる収入30,000千円がありましたが、長期借入金の返済による支出47,539千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

医療用医薬品市場が拡大を続ける中、当社が提供するe-Marketing市場の成長は今後も続くものと見込んでおります。このような状況のもと、当社は引き続き、医師の集合知を基軸とした臨床の現場で活用されるサービスの価値向上に注力してまいります。

以上を踏まえ、平成26年9月期における通期の業績予想は、売上高901百万円（前年同期比56.8%増）、営業利益224百万円（同151.8%増）、経常利益205百万円（同132.2%増）を見込んでおります。なお、当期純利益については、127百万円を見込んでおりますが、平成25年9月期に繰延税金資産を計上したことに伴う、法人税等調整額35百万円を計上したこと等の影響により、前年同期比11.9%増となる見込みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期会計期間
 (平成26年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	165,364
受取手形及び売掛金	244,622
その他	23,384
貸倒引当金	△74
流動資産合計	433,297
固定資産	
有形固定資産	4,753
無形固定資産	201
投資その他の資産	13,050
固定資産合計	18,005
資産合計	451,302
負債の部	
流動負債	
短期借入金	30,000
未払法人税等	34,469
賞与引当金	295
ポイント引当金	34,248
その他	95,247
流動負債合計	194,260
負債合計	194,260
純資産の部	
株主資本	
資本金	128,550
資本剰余金	118,550
利益剰余金	9,942
株主資本合計	257,042
純資産合計	257,042
負債純資産合計	451,302

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	452,559
売上原価	50,357
売上総利益	402,201
販売費及び一般管理費	265,509
営業利益	136,692
営業外収益	
受取利息	11
営業外収益合計	11
営業外費用	
支払利息	299
上場関連費用	2,338
その他	356
営業外費用合計	2,993
経常利益	133,710
税引前四半期純利益	133,710
法人税、住民税及び事業税	33,237
法人税等調整額	19,969
法人税等合計	53,206
四半期純利益	80,503

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	133,710
減価償却費	1,420
賞与引当金の増減額(△は減少)	295
貸倒引当金の増減額(△は減少)	27
受取利息及び受取配当金	△11
支払利息	299
売上債権の増減額(△は増加)	△87,610
ポイント引当金の増減額(△は減少)	6,768
前受金の増減額(△は減少)	11,380
未払金の増減額(△は減少)	9,723
未払費用の増減額(△は減少)	△2,791
未払消費税等の増減額(△は減少)	288
預り金の増減額(△は減少)	284
その他	△1,187
小計	72,597
利息の支払額	△276
利息の受取額	11
法人税等の支払額	△8,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,819
敷金及び保証金の差入による支出	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	30,000
長期借入金の返済による支出	△47,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44,034
現金及び現金同等物の期首残高	121,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	165,364

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。